ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

令和元（2019）年
７月６日発行
第１４号
文責（校長）片山　隆

夢のふくらむ学校

ＬＩ校生徒会の善意が掲載されました。



昨年度、ＬＩ校の中高等部生徒会が行ったバザーの収益金を、日本の東日本大震災の主に子どもたちへの救済のための「ハタチ基金」に寄付させていただいたところですが、この度同基金の Web サイトにて紹介されました。皆様の善意が有効に使われることと思います。ご協力ありがとうございました。

W校中高等部生徒がLI校で学習しました。



ランチルームでの交流の様子

W校借用校の校舎修繕工事に伴い、同中高等部生徒達は、ＬＩ校のエアコンがついた教室で集中して授業を受けていました。また、行き帰りも、渋滞もなくスムーズな移動ができたようでした。

昼休みには、ＬＩ校とW校の生徒同士が自己紹介を行いました。同じ補習校の生徒同士としてこれから交流が深まることを期待します。

授業研究会を行いました。

ニューヨーク補習授業校では、「教える教育」から「子どもが学ぶ」教育への教育の質的な転換を目指し、年間計画に基づいて教師の研修（授業研究）を進めています。29 日は、ＬＩ校初等部で 2 コマの研究授業（低学年部会と高学年部会）と放課後の研修会をもちました。

研究授業・研修会の大まかな流れは、**「指導案作成→教頭によるチェック→授業（教頭・部会所属の教師による参観）→放課後の協議（教頭が指導助言）**となっています。授業では、教師の発問に対する子どもの反応についての観察と記録を行います。それをもとに、放課後の研修会では、子どもの理解度や達成度、授業のねらいへの迫り方について指導が妥当であったかなど意見を出し合いながら協議を深めて参ります。最後に、教頭が全体的な観点から指導助言を行います。

全ての教師は年 1 回～２回研究授業を行い、授業スキルの向上に努めています。





情報をお寄せください



愛知県名古屋市にお住まいの<u>ながいとおる</u>さんと仰る方から右のような写真をお送りいただいています。封筒には<u>1968 年～1971 年の間、ＮＹ補習校に在籍（在職？）していた</u>と書かれています。しかし、50 年前のことなので、記録が見当たりません。どなたか心当たりの方がおられましたら、情報をいただければ幸いです。

なお、ＬＩ校の朝会で児童に紹介するとともに、お写真は、教室で飾らせていただきました。

① 初中等部の皆さん→「第 10 回花王国際こども環境絵画コンテスト」
（９月３日必着）<u>※各ご家庭で応募ください。</u>

② 中高等部の皆さん→「ＪＩＣＡ国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト２０１９」
（校内締め切りは８月３１日）

③ 初等部中等部の皆さん→「東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けたポスター募集」
（校内締め切りは９月２１日）